



ソルクシーズグループインターディメンションズ
 外出防止支援ロボット「いまイルモ PaPeRo i」 販売開始

ーコミュニケーションロボットを活用したIoTによる徘徊・外出防止支援システムー

株式会社ソルクシーズ（東証1部、本社：東京都港区、代表取締役：長尾章）のグループ会社株式会社インターディメンションズ（代表：長尾章、以下インターディメンションズ）は、ロボットを活用した新しい徘徊・外出（離設）の防止支援システム、外出防止支援ロボット「いまイルモ PaPeRo i」の販売を開始しましたのでお知らせいたします。

外出防止支援ロボット「いまイルモ PaPeRo i」は、株式会社ソルクシーズの「いまイルモ」と NECプラットフォームズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表：保坂岳深）が提供するオープンプラットフォーム「PaPeRo i」を組み合わせたもので、仙台フィンランド健康福祉センター「健康福祉サービス・機器開発委託事業」の採択を受けて開発しました。



施設の玄関等

- ・センサー反応で職員に通知
- ・センサー反応で施設内に居るように声がけ
- ・センサー反応で録画（連続画像）

どこに行くの？

中に居ようよ♪

連動

いまイルモのモーションセンサーが検知すると、職員へ通知すると同時に、PaPeRo iが「録画（連続画像）」を開始し、「どこに行くの？」「中に居ようよ」等と声がけ

職員等

- ・通知の一括管理
- ・動画（連続画像）の管理
- ・システム有効時間の設定
- ・スマートフォンなどの携帯電話で通知確認

■外出防止支援ロボット「いまイルモ PaPeRo i」について

株式会社ソルクシーズの見守り支援システム「いまイルモ」に、NECのコミュニケーションロボット「PaPeRo i」を連携させた、入居型介護施設における徘徊・外出（離設）防止支援システムで、仙台フィンランド健康福祉センター「健康福祉サービス・機器開発委託事業」の採択を受けて開発しました。

施設の出入り口となる場所に「PaPeRo i」を設置し、連動するセンサー子機のモーションセンサーに反応することで、「通知」「声がけ」「録画」を行い、Webシステムやアプリで管理を行います。今後はオプションとして顔認証による本人特定機能を追加する予定です。

【価格】

初期費用：オープン

月額費用：オープン

【導入決定施設の声】

開発における実証でご協力いただいた、株式会社エムズが運営する認知症対応型施設、グループホームエムズ赤坂（仙台市青葉区）では、「安価で導入できる」ことと、本来の機能に加え、徘徊・外出防止機能無効時のPaPeRo iの声掛けによる「癒し効果」も実感できたことが評価され、正式導入されることとなりました。

- ・「通知・声掛け・録画の機能は簡単に使うことができ、録画も鮮明なので徘徊・離設対策として安心して導入できる」

（代表取締役 森本様）

- ・「PaPeRo iに声掛けされると、入居者の方が喜んでいる」「PaPeRo iに挨拶されると返事する方もいる」

（施設管理者 葛西様）



【会社概要】

会社名： 株式会社インターディメンションズ

所在地： 〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町 3-10-1

代表者： 代表取締役 長尾 章

設立： 1978年1月28日

資本金： 2,000万円（2018年3月現在）

事業内容： 店舗・施設向け設備工事業、デジタルサイネージ事業 等

【外出防止支援ロボット「いまイルモ PaPeRo i」のお問い合わせ先】

株式会社インターディメンションズ

ホームページ：<http://www.interdim.co.jp/>

担当： 管理本部 荒木

TEL: 03-6722-5081 FAX: 03-6722-5082

info@interdim.co.jp